

2024年度（全5回）HCTC分科会

（造血細胞移植コーディネーター）

厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」
造血幹細胞移植推進拠点病院
南関東・甲信越ブロック地域連携事業

第21回 Web Meeting

日時：令和6年5月24日（金）17:30～18:15

場所：参加者各施設（Web Meeting）

参加者：計 24名（うち開催関係者；4名）、施設（埼玉2・千葉2・神奈川6・東京6・静岡3・沖縄1）

議 事

I 本日のテーマ：

- 自己紹介：3名（千葉、東京、神奈川）

● 本会の説明（資料1～5）

- 目的・HCTCのピアサポート
- ・HCTCの立ち上げを支える
 - ・認定取得を支える
 - ・困りごと、困難事例の解決

2024年度の目標

- ・Q&A集の充実
- ・HCTC認定取得推進
- ・HCTCの施設間連携促進：小児コーディネートを重点課題

2023年度の振り返り

- ・活動成果
- ・認定取得者；分科会登録メンバー4名合格

● 本年度の活動予定（資料6～10）

- ・セミナー企画（11/23）

事前アンケート結果；骨髓バンクドナー大改革、患者HLA検査の省略、採取前健診に1本化、ドナーHLA検査（NGS法）の標準化、検査業者の自由化、まずはHCTC業界の意見集約を図る、意思決定支援の困難面談スキルUP、他部門の仕事を知る企画、患者やドナーがHCTCに求めていることを知る、AIに関する勉強会；使い方、動画作成方法を知る（ドナー説明動画など）夏までには内容を決定する

● 紹介（資料11～14）

- ・連絡先リストの紹介、ルール変更点の説明（毎年度末に修正の有無を確認）
- ・Q&A集
- ・リクルート掲示板（情報提供）
- ・お役立ちツールの共有（ドナー検査依頼書、ドナー問診票）
→希望のツール作成希望があれば事務局：三枝まで連絡を

● 次回7/19ミーティングについて

- ・HLA研究所の交流会（担当：山崎）
- ・6月24日よりアンケート調査予定
参加対象：分科会メンバー

II 次回のミーティング開催日時

2024年7月19日（金）17:30～18:30

資料

資料1

南関東甲信越ブロック HCTC分科会

現登録者
40名+4(連)

- 【目的】 HCTCのピアサポート（顔の見える関係）
- ・HCTCの立ち上げを支える
 - ・認定取得を支える
 - ・困り事・困難事例の解決

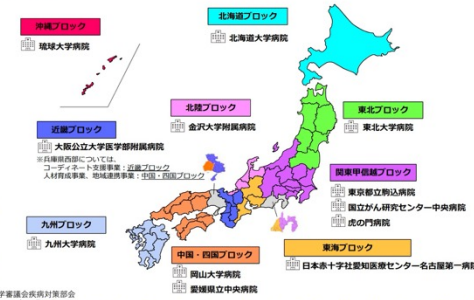
2024年度の目標

- ・Q&A集の充実：内容の充実に向け評価・課題分析
- ・HCTC認定取得推進：未認定HCTC、不在施設への支援
- ・HCTCの施設間連携促進：小児コーディネートを重点課題

資料2

造血幹細胞移植医療体制整備事業

造血幹細胞移植推進拠点病院 全国9ブロック 12施設（令和2年度より）



厚生科学審議会疾病対策部会
令和4(2022)年12月3日
造血幹細胞移植委員会（第59回）資料2より

5

資料3

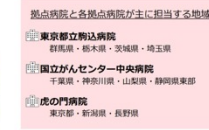
3. 関東・甲信越ブロック

<ブロックにおける各病院の役割分担について>

- 拠点病院として地域をまもることができる、余力のある病院は、東京圏外にはほぼ認めない。
- 関東の移植施設の多くは、KSGCT(関東造血幹細胞移植共同研究グループ: Kanto Study Group for Cell Therapy)の集まりを持っている。
- 関東甲信越地域を3ブロックに分け、各拠点病院が責任を持って事業を行う地域を明確化する。

その上で、「責任を持って事業を行う地域」以外の地域においても、各拠点病院が地域に根付いている地域については、当該拠点病院が指定する地域拠点病院を配置し、効率的に事業を行うことができる体制とする。

これにより、同一地域における地域拠点病院間での連携も緊密に行い、効率的な事業実施を図る。



厚生科学審議会疾病対策部会
令和4(2022)年12月3日
造血幹細胞移植委員会（第59回）資料2より

10

資料4

3-2. 関東・甲信越ブロック（南関東）

事業計画の主なポイントと成果参考指標

■人材育成事業

課題： 設備整備部、山梨県を中心に人材不足している。
対応： 1. 山梨県内の人材育成を推進。山梨県内に施設を開設。 2. 山梨県内の人材育成を推進。山梨県内に施設を開設。

	R2	R3	R4	R5	R6	合計	目標
新規認定施設	4	0	0	0	0	4	2名
171円未満の施設	9	14	0	0	0	23	100%
認定HCTC	2	3	0	0	0	5	5名

■コーディネーター支援事業

課題： 施設間連携の推進が困難な状況で、山梨県に施設を開設できない。
対応： 1. 山梨県内の人材育成を推進。山梨県内に施設を開設。 2. 山梨県内の人材育成を推進。山梨県内に施設を開設。

	R2	R3	R4	R5	R6	合計	目標
新規認定施設	4	0	0	0	0	4	2名
171円未満の施設	9	14	0	0	0	23	100%
認定HCTC	2	3	0	0	0	5	5名

■地域連携事業

課題： 設備整備部、山梨県を中心に人材不足している。
対応： 1. 山梨県内の人材育成を推進。山梨県内に施設を開設。 2. 山梨県内の人材育成を推進。山梨県内に施設を開設。

	R2	R3	R4	R5	R6	合計	目標
新規認定施設	4	0	0	0	0	4	2名
171円未満の施設	9	14	0	0	0	23	100%
認定HCTC	2	3	0	0	0	5	5名

12

資料5

振り返り：2023年度の活動成果

- ・Webミーティング
 - ・開催数：5回 *45分/回*司会書記持ち回り
 - ・検討内容：
 - ・移植後の食事指導
 - ・検体搬送等 搬送業者との契約
 - ・HCTC活動の立ち上げ、認定取得
 - ・いこごハプロ血縁コーディネート
 - ・骨髄バンクのコーディネート（ドナー部・移植調整部）
 - ・小児コーディネート（9月：全国ミーティング）
- ・セミナー企画1回（11月：多職種協働テーマに夢と希望）
- ・JMDP安全情報や学会プログラムの共有
- ・Q&A集のPDF配信開始
- ・お役立ちツール（血縁ドナー依頼）の作成・公開・改訂
- ・認定取得者（祝）登録メンバー4名合格

資料8

1. 移植拠点病院のセミナーを11月に企画します
企画内容についてご希望がございましたら教えてください

- Webでの分科会は、業務調整しながら参加できるのでとても良い。
● 移植に関連する部門がどんな業務をして、何に困っているかを知る企画はどうでしょうか。また、実際の患者やドナーの体験からHCTCに求めていることを知る機会があるといいなと感じます。HCTCからみた、患者やドナー支援のセミナーが多いので、遠方視点から業務を考えたいので。
- 現時点で具体策が思いつきません。また皆さんと相談できたらと思います。
- 意思決定支援が難しいと感じることがあります。もっと支援技術や臨床技術などのブラッシュアップがしたいです。
- AIの勉強はいいかげんか。AI活用で、業務負担を減らせるのではないかと感じています。

セミナー企画（11/23）

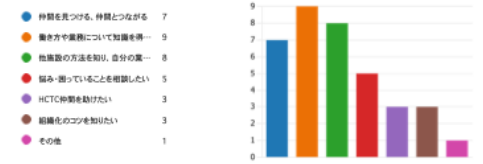
- ・JMDP、CBB、HLA研究所に行ってみる体験型？

企画募集中！

事前アンケート結果（当日プレゼンします）

資料9

2. 分科会ミーティングを5回/年 企画します
このミーティングに期待することを書いてください



3. 時間についてお伺いします
:45分は長いですか?短いですか?



資料

資料10

分科会ミーティングについて忌憚ない意見をお寄せください。
新しい企画の要望、もっと自由に話す時間がほしい、こんな話が聞きたい、仕事に役立つ何かを作りたい
(お役立ちツール) など、なんでも結構です。

- 通常の分科会の時間では、難しいと思いますが、素晴らしいメンバーの集まりなので、家族看護やAGPのことなど、ディスカッションできたら、素敵な発見があると思います。
- 大規模施設と大多数の小規模施設ではHCTCの活動実態に格差がある。HCTCの個人的努力ではなく、学会や、分科会が主導する支援活動の構築を希望します。
- コーディネートが大家だった、嬉しかったことや思いついた事例など、話せる範囲で自由に話す時間があるといいなと思っています。なかなか共有する場がないので。
- お役立ちツール作りたいです。血縁ドナーの問診票や、患者さんと話した時の情報を書き込むフォームを自前で使用しているのですが、他の皆さんはどんなことを盛り込んでいるのか気になります。
- 多くの方が発言できるようにという話がありましたが、そのようになればいいと思いますが、話を聞いてくれるだけで満足だという方もいらっしゃると思いますし、難しいですね。私は今のミーティングで十分有り難く感じています
- 分科会があることで、つながりがあることへの安心感があります。自由に話す時間は重要だと思いますが、話すテーマが必要かと思っています。参加者全員が発言する機会があるといいのではないかと思います
- いつもありがとうございます。分科会のつながりがあります。

本分科会登録者の「連絡先リスト」資料11

目的

- 1) ICTを利用した相互交流を円滑にする
- 2) 定期ミーティング以外での相互相談を可能にする (連携強化)
- 3) HCTC認定取得を支える

ルール

目的以外の用途での使用禁止

項目

- 1) 氏名・施設名・認定の有無・メアド
- 2) 電話・背景 (HCTC以外の職や勤務状態)
- 3) 認定を受けた年・資格取得予定年

配布方法

- 1) 新メンバー追加の度、随時配布 (ミーティング前 1回/月)
- 2) ルール遵守の「同意書」提出済メンバーへ配布 (30名/37名)
- 3) 本人の開示希望項目のみ掲載、リスト掲載拒否も可 (リストは配布)

管理者

運営者 (国がん 東海大) ・事務局 (川部)

希望者は川部まで!

ルール変更

毎年年度末に修正の有無を確認します

資料12

Q&A集

はじめに

本HCTC Q&Aは、HCTC分科会定期ミーティングおよびJMDPとの意見交換会にて、かつて議題に上った園りごとをテーマ別に整理した。分科会メンバー内でHCTCが日々の業務に役立てるためのアクセスしやすい資料として、下記1)〜3)の内容に準じて2022.11.25より適用を開始しました。

- 1) パスワードを設定したPDF書類として分科会メンバーのみに配布
- 2) 分科会定期ミーティング議事録から得られた情報をテーマ別に事務局が追記
- 3) 配布頻度は定期ミーティング開催前

※分科会定期ミーティングの議事録は、分科会メンバーが持ち回りで作成
議事録は、資料集に掲載される内容となることを直議し、本人にも理解できるようにわかりやすい記載を心がける

転写・複写はご遠慮ください。

厚生労働省「造血幹細胞移植医療体制整備事業」
造血幹細胞移植推進拠点病院
南関東・甲信越ブロック地域連携事業 HCTC分科会

資料13

リクルート掲示板

The screenshot shows a web-based recruitment board interface. It includes a header with the organization's name, a sidebar with navigation links, and a main content area with a table of data. The table has columns for 'No.', 'Name', 'Age', 'Gender', 'Blood Type', 'Address', 'Phone', and 'Email'. The data is organized into rows, with some rows highlighted in blue.

お役立ちツールの共有

資料14

- ・ドナー検査依頼書 (たたき台参照)
- ・ドナー問診票

移植拠点病院 (東海大) のHP

移植コーディネートに関する相談

● 移植コーディネートに関するお役立ちツール

造血幹細胞移植推進拠点病院南関東・甲信越ブロックの移植施設における移植コーディネート業務を円滑に進めるための資料など、現場目線でお役に立てよう各種ツールをご提供しています。自由にダウンロードいただき、ご利用ください。

資料	ファイル	掲載年月日
紹介ドナー事前受付用紙		2023/2/6